

「みらい農業づくり会議」開催状況と「将来ビジョン」取組内容の一覧表

1．開催状況（参加人数：延べ1,110人、うち女性123人）

地域自治区名	第1回 （農地と地域の強み・弱み等の整理）	参加人数		第2回 （今と将来の取組内容等を整理）	参加人数		第3回 （取組の優先順位付け等）	参加人数		グループワーク （テーマ別に具体策を検討）	参加人数		第4回 （将来ビジョンの検討と決定）	参加人数	
			うち 女性			うち 女性			うち 女性			うち 女性			うち 女性
谷浜・桑取区	令和3年12月14日	34	8	令和4年3月29日	26	8	令和4年6月28日	24	5	テーマ別に2回実施	56	13	令和5年3月29日	28	5
安塚区	令和3年11月25日	32	3	令和4年3月25日	33	3	令和4年7月7日	29	1	—			令和5年3月17日	25	1
浦川原区	令和4年3月14日	30	2	令和4年3月28日	29	1	令和4年7月12日	29	1	令和5年10月31日	23	1	令和5年2月21日	19	1
大島区	令和3年11月30日	37	3	令和4年3月24日	32	2	令和4年7月4日	31	3	—			令和5年3月22日	24	1
柿崎区	中山間地域直接支払交付金第5期対策の開始対策の「集落戦略」の見直しにあわせ、新たに「将来ビジョン」を作成（令和6年7月12日決定）														
牧区	令和3年11月29日	37	7	令和4年3月23日	25	3	令和4年11月9日	24	3	—			令和5年3月27日	19	5
吉川区	令和3年11月19日	34	1	令和4年3月23日	29	1	令和4年7月12日	28	1	令和5年11月17日	37	2	令和5年2月22日	33	－
板倉区	令和3年11月26日	33	5	令和4年3月22日	23	4	令和4年10月26日	22	3	—			令和5年3月22日	17	3
名立区	令和3年8月20日	38	8	令和3年12月21日	31	2	令和4年6月22日	26	4	テーマ別に2回実施 （組織育成Gは4回）	85	7	令和5年4月12日	28	2
		275	37		228	24		213	21		201	23		193	18

2．「将来ビジョン」取組内容

地域自治区名	【キャッチフレーズ】 ありたい姿	担い手・後継者の確保	農業生産維持に向けた作物選定 ・所得確保	農業機械・スマート農機の共有化 ・共同利用	土地利用の明確化・農地条件の改善	事務局的作用を担う 「活動のエンジンとなる組織」
谷浜・桑取区	谷浜・桑取区らしさである海から山までの地域資源を活かし、地域内外との交流により、桑谷ファンを増やします！！	・農業体験の受入に向けた体制整備 ・農業体験希望者の受入 ・担い手の募集 ・マニュアル（就農）の作成 ・半農半「X」の推進 ・地域おこし協力隊の導入（検討）	・山菜の収穫作業体験を促進する ・山菜を活用した所得補償 ・振興作物（ブルーベリー等）を栽培する ・情報を発信する（特産品の販売等）	・農作業の共同化を進める ・ドローンによるカメムシ防除を共同で実施する ・ラジコン草刈り機による法面除草の共同作業	・鳥獣被害対策の実施（地区全体を広く網羅する電気柵等の設置） ・農道、水路等のインフラ管理体制の構築（管理の省力化に向けた整備を含む） ・基盤整備の実施 ・農地貸出	「NPO かみえちご山里ファン倶楽部」と「桑谷農業振興会」との共同体
安塚区	安塚区らしさである豊かな自然と雪を活かし、ひと手間とブランド化により、持続可能な農業をめざします！！	・情報発信体制を検討し、新規就農希望者を募集 ・法人設立の検討 ・移住者、定年帰農者の受入れ	・米の安塚区ブランドの検討 ・自然薯オーナー制度の検討 ・イチジクとクルミシロップの試験的な取組	・ドローンの活用を推進する ・関係機関に対して、農業機械のリース制度の充実や農業機械導入の補助率アップを要望する	・基盤整備の検討（用水路、暗きょ排水を含む） ・農地の集約、集積の実施	新たに「安塚区みらい農業づくり推進協議会」を組織
浦川原区	浦川原区らしさである伝承技術と農村文化を活かし、豊かな地域資源の活用と異業種間の連携により、将来世代につなぐ持続可能な農業をめざします！！	・U・Iターン希望者等の半農半Xの生活環境づくり ・農作業コンテストを通じた区の魅力発信及び農家同士のコミュニティづくり ・水路・農道等の新たな管理体制の仕組みづくり ・雑草抑制に効果がある芝に取組み、労力軽減に努める	・竹の有効利用 ・朴葉飯の商品化 ・米粉を活用した商品化	・スマート農業で若者への魅力発信と生活環境の整備を促進 ・農業機械の共同利用の推進 ・異業種間連携による農業受託事業の促進	・主食用米以外の作物栽培の促進 ・蜂蜜の製造・販売の促進	新たに「浦川原区みらい農業づくり推進協議会」を組織
大島区	大島区らしさである人や物・自然の豊かさを活かし、楽しい農業や地域のつながりにより、人生の楽園をめざします！！	・地域の受入体制の構築と地域おこし協力隊の導入を検討 ・農業参入する会社を募集する ・残す農地、貸し付ける農地、やめる農地の線引きを行う	・農産物と地域の魅力の情報発信 ・農産物を加工し、高付加価値化による所得の増収を目指す	・農業機械の共同利用の促進と農作業の共同化に取り組む ・市を通じて、NOSA Iによる防除の継続を希望する ・ドローンの活用を推進する	・残す農地を明確にする ・農道、水路、ため池の整備を行う ・人・農地プランの理解の浸透を図る	新たに「大島区みらい農業づくり推進協議会」を組織
柿崎区	柿崎区らしさである地域内外の人との連携や交流を活かし、担い手を確保することにより、地域農業（集落）を維持していきます。	・現地見学や体験等の研修生の受入れによる担い手の育成 ・地域おこし協力隊の受入れによる担い手の育成 ・都市交流による交流人口の拡大	・柿崎ブランドの確立 ・横山人参や干し柿の生産の維持 ・SNS等を活用した情報発信	・地域にあった機械の導入 ・農業機械の共同利用	・鳥獣被害対策に関し、集落間連携による営農体制の構築 ・基盤整備事業の実施 ・守るべき農地の明確化	上越市黒川・黒岩地区指定棚田地域振興協議会と柿崎区を食べる会の連携
牧区	牧区らしさである・自然・棚田・人情を活かし、SNSでのPRにより、美味しさを世界へお届けします！！	・女性が参入しやすい環境づくり ・女性・若者農業イベントに対する農業体験の開催と交流人口の拡大 ・空き家・空き地・農地付き空き家の利用促進	・こだわり米の生産推進 ・女性が参加しやすい農業イベントの開催 ・SNS等を活用した情報発信	・農業3Kのイメージ払拭 ・ドローンの導入促進	・圃場整備、暗渠配水の促進 ・農業用排水、ため池の整備促進	「地域運営協同組合（農業＋商工観光）の（新組織設立）」ほか
吉川区	吉川区らしさである人のあたたかさや自然の多様性を活かし、移住の促進と交流人口の拡大により、担い手農家の確保・育成を図ります！！	・移住者（地域おこし協力隊等）の受け入れ ・地域の魅力発信 ・非農家や企業との協力体制の整備	・「吉川ブランド」の確立 ・山菜の栽培	・地域に合ったスマート農業 ・農業機械の共同利用	・守るべき農地の明確化（集落戦略の見直し） ・条件の悪い農用地の活用 ・農業用施設の整備 ・山林の整備	「みらい農業づくり会議」を発展させた「農業者と関係機関が連携した新たな組織」
板倉区	板倉区らしさである米とソバの美味しさを活かし、インターネットにより、板倉の農業を世界に広げます！！	・平場から山間地へ担い手の協力（支援）体制づくり ・既存人材育成生機会の利用促進 ・移住者受入のPR強化	・棚田米の付加価値PR ・そばの生産・加工・販売の強化 ・インターネット等を活用した米・そばのPR	・板倉区全体で共同利用できる農業機械の導入 ・平場の農業法人への作業委託	・農道・用排水路及び用水乗入道路の整備 ・耕作者のいない農地の共同作業	「板倉区中山間地域農業振興会」、「生産組合の連合体（新組織立上げ）」ほか
名立区	名立区らしさである豊富な資源を活かし、地域の連携や発信により、名立を日本中に売り込みます！！	・農業体験の受入に向けた体制整備 ・農業体験希望者の受入 ・担い手の募集 ・農業体験の実施 ・空き家情報の発信 ・農作業の協同化	・梅を新植する ・ソバを生産、拡大する（イベントや特産品の開発含む） ・情報を発信する	・農作業の協同化を進める ・ドローンによるカメムシ防除を共同で実施 ・ラジコン草刈り機による法面除草の共同作業	・農地の有効利用促進（農地集積、遊休農地の活用、多面的な利用）及び基盤整備事業の実施 ・農業インフラを整備（農道・水路の整備）	「名立区農業振興協議会」を中心とする区内農業団体（集落協定・多面組織等）の協議体